

市民のひろば

魅力あふれるいわきの創生
～いわきの芸術・文化・スポーツ～

レポート②④

今月号は、市内でパフォーマンスの公演や、幼稚園等で子どもたちへの表現の指導などを行っている「盛名劇団かもめ」代表の森絵留さんに、インタビューした内容をお伝えします。



森絵留さん（盛名劇団かもめ代表）

Q 活動内容を教えてください。

演劇やパフォーマンスの公演、舞台・映像制作など、さまざまな活動を行っています。演劇作品の一部を劇団のホームページなどで紹介しており、海外にファンクラブができています。

また、幼稚園や小学校で表現遊び教室やワークショップを受け持ったり、発表会のお手伝いをしたりしています。さらに、大学で児童心理学を学ぶ学生たちに、心理学的な側面からの表現を教えてくださいました。

Q 幼稚園などではどのようなことを教えているのですか。

表現遊び教室では、自由に表現することを教えています。

例えば、子どもたちに「右に回る」という指示を出します。指示通



市立美術館で観客を巻き込みながらパフォーマンスを披露

りに右に回らなくても、決して駄目と言わずに自由に動いてもいいです。そうすると子どもたちは、自由な意思が世の中に受け止めてもらえるんだと分かるようになります。

こうした体験を積み重ねることで、自分を開放して、伸び伸びと表現できるようにになります。

Q 子どもたちの反応はいかがですか。

三歳ぐらいから表現遊びをしていると、五歳ぐらいには自分たちで演劇作品を作ることができるようになります。演技を教えたことは一切ありませんが、自分たちで物語やセリフなどを考えるので、キラキラと輝いて生き生きと演じます。

大学生になった教え子が、幼稚園で自分たちの思うままの表現を作品



表現遊び教室で伸び伸びと体を動かすあざみ野幼稚園の園児

に作り上げた体験があったからこそ、自分の可能性を信じ、辛いことを乗り越えることができたと話してくれました。

Q 今後の抱負をお聞かせください。

表現の指導に長く関わってきたからこそのことがあると思うので、具体的な計画はありませんが、子どもたちが自主的にものをつくっていくことができる環境を、地域社会の中に整えてあげることができればいいなと考えています。

子どもたちの思いを整理して、パフォーマンスなどの作品にしてあげること、より多くの子どもたちに喜びや楽しみを体験してもらい、その体験が大人になっていく過程で役に立ち、社会の中で生かされていく

地名の中の「いわき」

明治の大合併でできた地名①

政府は、明治二十一年（一八八八）年四月、中央集権的な統治を浸透させ、一定規模の自治体を構築するため「明治の大合併」と呼ばれる市制・町村制を公布し、翌年施行しました。

このうち「村」については、これまでの慣習を踏まえつつも自立した行政ができるよう、三百から五百戸を標準世帯数とする枠組みにしました。



川部村役場 [大正時代 鴨勝男氏提供]

地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

いわき地方においては、合併に当たり、平窪、高久、江名、泉、窪田、上遠野、好間、三阪、川前、久之浜、大久など、合併区域の中で最も人口規模の大きな村を、新しい村名に採用した例が多かったのですが、同程度の規模の合併では、村名を巡って、さまざまな問題が生じました。このため、他の合併事例を参考にしながら、村名が決められていきました。

○村名の一部ずつを採った例

- ▼川部村中心的小川村と沼部村の「川」と「部」を採用
- ▼永戸村上永井村、下永井村、合戸村、渡戸村が合併する際に、それぞれ二つの村に共通した「永」と「戸」を採用
- 神社、豪族などの名称を採った例
- ▼渡辺村を治めていた渡辺氏に由来
- ▼鹿島村鹿島神社に由来
- ▼磐崎村を治めていた岩崎氏に由来

（いわき地域学會 小宅幸一）

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課（☎22・7503）までご連絡ください。

連載シリーズ

こんにちは市長室から ②⑧



「いわき新時代」の幕開け

いわき市長 清水敏男

平成30年がスタートしました。震災から間もなく7年、本市は復旧から復興、そして創生へと着実に前進しています。

本年は一年を通じてさまざまな行事や社会基盤の整備が市内で行われますので、その一部を順を追ってご紹介します。

今月11日には、過去最多の1万人を超えるランナーが参加する第9回いわきサンシャインマラソンを開催します。3月には四倉中核

工業団地第2期区域が竣工する見込みで、5月には第8回太平洋・島サミットが前回に続き開催されます。6月には全国植樹祭に関連する第47回全国林業後継者大会の開催と（仮称）イオンモールいわき小名浜のオープンが予定されています。8月には2年連続となる第61回オールスター競輪が、11月にはアクアマリンふくしまを中心に、国内2例目として第10回世界水族館会議が開催されます。そして12月には、市民の皆さんが待ち望んでいる総合磐城共立病院の新病院「いわき市医療センター」が開院する予定です。

本年は、本市がさらに飛躍する年であり「いわき新時代」に向け本市の底力を国内外に大きく発信できるよう、市民の皆さんと共に歩んでまいりたいと考えています。